

6Q-1

ケータイアプリを利用したモブログの提案と検証

佐藤大輔[†] 片岡信弘[†]
東海大学工学研究科電子工学専攻[†]

1. はじめに

今日、ウェブログは個人ニュースサイトや日記の代わりなどに使われるなど多方面で利用されている。そのウェブログと携帯電話の機能として使用しているケータイアプリを用いたブログ作成支援システムを提案する。ケータイアプリを用いることで携帯電話に付いているカメラ機能や位置情報を有効活用できると考えられる。現在では携帯電話に通信機能を利用することによって場所や時間などのメタデータを付加した形でそれらのイメージをサーバーに置く事で整理、蓄積、公開できるようになった。そのなかでも代表的である携帯電話からブログを書き込む「モブログ」が注目されている。モブログの利用形態はカメラで撮影された写真やムービーなどのメディアデータを書き込むのがほとんどである。(Fig.1)

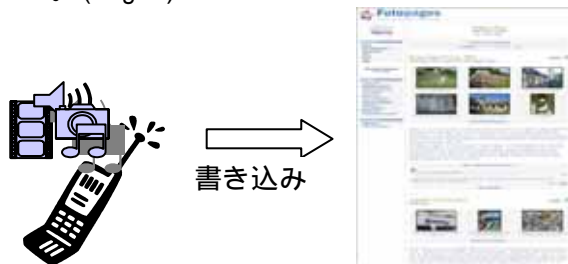


Fig.1 モブログシステム

2. ウェブログ

2.1 ウェブログとは

個人運営で日々更新される日記的な Web サイトの総称である。一般的には、単なる日記サイト(著者の行動記録)ではなく、ネットで見つけた面白いニュース記事や Web サイトへのリンクを張り、そこに自分の評論を書き加えた記事が時系列に配置されている Web サイトのこととされているが、厳密な定義はない。また、他者のウェブログに対するコメントを、自サイトの日記のネタとして利用する際に、先方に記事の引用を知らせるとともに、自分の記載したコメン

トを先方に自動送信する“トラックバック機能”を持つ場合が多い。この機能を利用すると、どちらのウェブサイトからでも相互のウェブログのコメントが参照できるため、単独のウェブログよりも幅広い意見交換が期待できる。

2.2 モバイルウェブログ(モブログ)

1日の決まった時間にパソコンを使ってまとまった量の文章を投稿する形が多い通常のブログに対し、独特のライブ感覚やテンポの良さがある。内容的にも「今日の昼ごはん」「街で見かけた変なもの」「電車で芸能人を目撃」など、生活に密着した身近な話題を取り上げる例が多く、記事を書かされているのではなく、自ら更新していると意識すると思われる。

パソコンから更新するのと比較して考えられる利点は、「手の空いたときにいつでも更新」「カメラで撮った画像をそのまま添付」など気楽な感覚でブログを書けることなどが挙げられる。PCのように、「いったんデジカメから画像を取り込んで HDD に移して...」といったプロセスが省略できるのが強みの一つであると考えられる。

3. 現状

実際にモブログを使ったユーザーならわかると思うが、携帯電話からのブログ利用は、操作性や閲覧性、レスポンスといった面で、PC に比べて使いにくい。

また、書き込みをする際は URL を打ち込んでサイトにアクセスする形や、メールを送信して投稿する方法となる。ネットワークに繋いだままの状態なので電波の届きにくい場所(地下・スキー場)ではネットワークにつながらなく、ブログの更新が出来ないことも考えられる。電車などの公共機関を利用している場合では社会的問題によりネットワークを利用するのも考えなくてはいけない問題であろう。また、撮った画像の場所に行って見たいなどの要求に関しても、詳細な場所が教えられないといったことも考えられる。

4. 提案内容

Fig2 にシステムの全体構成を示す。想定して

A proposal and verification of Moblog using Cellular phone application program.

[†] Daisuke Sato and Nobuhiro Kataoka

Graduate School of Electronics, Tokai University

いるシステムは、ケータイアプリを用いてウェブログの記事を書き、カメラで撮った写真を添付し Web Server に送る。本稿では、システムはユーザー数や開発環境から NTT ドコモの i アプリとする。メールや Web サイト経由でウェブログを更新する手法は現在でもあるが、アプリケーションとしてはほとんどなく新しいプラットフォームになると考える。また、更新の際に i エリア情報を使い、写真の撮った場所のエリア情報を付加する。そして Web Server 上にウェブログツールを設置し、アプリから投稿することによって自動更新するのである。ウェブログツールは現時点で拡張性や使い勝手を考え Movable Type を使用する。現状で挙げた電波の届かない場所、更新を考えなくてはならないような場所に関しては、記事を書いてアプリ側に保存し、後ほど更新するといった手法をとる。

サービスやアプリケーションとして、携帯電話の特性を捉えた情報のインプットとアウトプットを考えると、様々な利用価値があり、今後も発展していくと考えられる。i エリアの機能を使い、画像(メディアデータ)などに位置情報を持たせ、モブログした場所がどこで行われたかが分かるようになる。これはつまり自分の居場所を知らせれば、過去にその場で行われたモブログの情報を引っ張り出すことも可能になり、場所に合った情報の収集をモブログで行うことが出来るようになると思われる。

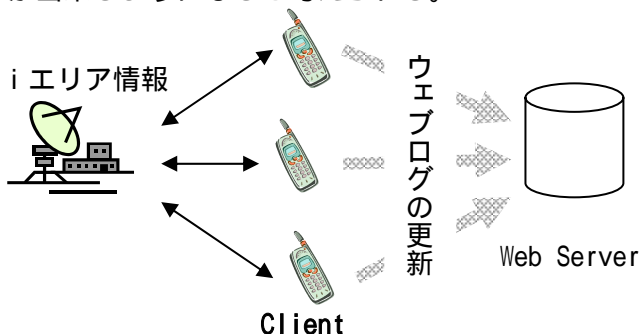


Fig.2 システムの全体構成

5. 評価・検証

本システムを一定期間使用してもらい、既存のブログサービスとの比較を考えている。比較内容は、「操作しやすさ」「見易さ」などのユーザビリティ的なものと、「楽しさ」「飽きなさ」などの作業的な仕事とならないような項目を評価項目として挙げる。評価は被験者によるアンケートの5段階評価とヒアリングによるものを行った。

現状では、モブログへ投稿する際の方法として以下のものが挙げられる。

(a) メール形式

題名・本文を書き、添付したいメディアデー

タを指定されたメールアドレスへ記事を送り、投稿する方法。

(b) Web サイトアクセス形式

指定された URL へアクセスし管理画面からログインし記事を投稿する形になる。

(c) アプリケーション形式

専用のアプリケーションをダウンロードし、そのアプリケーション内で記事を書き投稿する形となる。

まずメール形式だが、メディアデータを添付し、題名・本文を書いてメール送信するだけで投稿が反映できるのはいいと思うがブログを書いているという意識があまりなくただ単調な作業になってしまうのではないと思われる。

次に Web サイトアクセス方式だが、まず最大の問題点は電波の届かないところでは一切更新が出来ないところにある。それによって更新できないことによりブログを書く機会を失ってしまい意欲がなくなるのではないと思われる。

アプリケーション方式だが、ソフト立ち上げに多少の時間はかかるかもしれないがアプリとしてブログを書くことが楽しさへとつながり、書き込み・閲覧等が簡単に出来るのではないかと考え、Web サイトアクセス方式とメール形式で挙げた弱い穴を埋めると考える。

現在は、アプリケーション形式でモブログサービスを実装しているサイトはほとんどないのでメール形式と Web サイトアクセス方式との比較をし、前述で挙げた項目を評価として比較をした。

6. まとめ

本提案では、ケータイアプリとブログの機能を利用してコミュニケーションを図るシステムの提案をした。メール方式・Web サイトアクセス方式とは違うケータイアプリケーションとしてのモブログのとしての一提案をし、アプリケーションとしてのモブログの有用性が証明されたと考える。さらなる比較・今後のサービスのため、アプリケーションとしてのモブログサービスが多く登場することを望んでいる。

参考文献

- [1]NTT ドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/>
- [2]さかきけい 著“Java for i アプリ” 株式会社ピアソン・エデュケーション
- [3]携帯電話の利用に関する調査 (株)イブシマーケティング研究所
http://www.ipse-m.com/report_csmr/report_c4/IPSe_report4.pdf